



あたたかい笑顔と

タンポポに迎えられて



校長 高橋 正明

4月12日（火）着任式で、5人の児童生徒にむかえてもらいました神奈川県川崎市から赴任した校長の高橋正明です。よろしくお願いたします。



始業式、入学式を無事に挙行することができ、赴任が決まってからの色々な心配が安心にかわりました。

赴任前は、コロナ禍で赴任できるのか？入国できるのか？その後の隔離は？学校は？子どもたちは？などが頭から離れませんでした。しかし、スクールバスから降りてくる明るい笑顔と後ろの校庭で咲いている黄色いタンポポの光景を見ると不安は消えました。さらに着任式での真剣な眼差しとあたたかい言葉に、感動をもらい、一緒にやっていきたい意欲が生まれ、安心感が持てました。

中学部の入学式は日本の愛知県と結ぶリモートでおこないましたが、やはり笑顔と明るい声が画面から伝わってきて、早くルーマニアへ戻ってきてもらい、一緒に授業を行いたいと実感しました。

3月の頃の日本国内では、安全を考えながら通常の生活を視野に入れているところでしたが、小学生を中心としたコロナ感染が拡大している状況でした。ルーマニアは感染者が減少しており今までの日常生活へ戻りつつあります。本校も安全対策をとりながら対面と体験を重視した学校活動を視野に入れて新年度を迎えました。感染症対策の基本は口腔か

らウイルス侵入を防ぐことで、マスク、手洗い、密の回避と換気です。今のところ本校では、周囲に感染させないためにマスク着用で授業を実施しています。ご理解とご協力をお願いします。

始業式では、「みんなの命が一番大切です。みんなが健康で、みんなが楽しい学校を一緒につくっていきましょう。そのために、一人ひとりには個性があり、得意不得意があるので、自分のペースで勉強や運動をあきらめないで行いましょう。そして、みんなにやさしくし、元気にあいさつをしましょう。」の約束をみんなでしました。

入学式では、わたくしたち教職員一同が「児童生徒一人ひとりを大切にする学校」を目指して努力することを伝えました。

子どもたちのことを第一に考え、今までの伝統を継承しながら、現状に応じた対応をしながら将来を見据えて前進をしていきますので、ご協力とご理解をお願いいたします。

世界中には戦争や被災で安心して日常生活が送れない方々が多くいます。普通の日常生活が遅れていることに感謝しながら、日々を大切にしたい学校生活を送っていきたいと思います。

